



コロナ禍に見舞われたこの3年間。さまざまな困難を乗り越え、私たちの祭りが戻ってきました。長崎街道かんざき宿場まつり、城原川ハンギーまつり、脊振町わんぱくまつりなど、地域が誇る祭りがたくさんあります。今回は、神崎市3大夏祭りに参加された皆さんの思い出を振り返ります。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

長崎街道かんざき宿場まつり



# 城原川ハンギーマつり



# 脊振町わんぱくまつり





## 7/8 交通安全子供自転車佐賀県大会 千代田東部小学校が3位入賞

交通安全子供自転車佐賀県大会が佐賀市の大和勤労者体育センターで開催され、神埼地区を代表し千代田東部小学校6年の塚原<sup>れんおう</sup>錬鳳さん、白濱<sup>ゆら</sup>優来さん、高野<sup>らいり</sup>来湮さん、内川<sup>みゆり</sup>心百合さん、米光<sup>たつき</sup>樹希さんが出場しました。

たくさんの応援で緊張する中、見事団体3位という成績を収めました。この入賞を受け、7月18日に神埼地区交通安全協会千代田支部から商品券が贈呈されました。



## 7/8 21~10 神埼町犬の目地区 朝日を浴びてラジオ体操

神埼町犬の目地区で、毎年子どもから大人まで100人以上が参加する夏休みのラジオ体操が、今年も7月21日から8月10日まで行われました。

朝日が昇るころ、眠い目をこすりながら子どもや父母らが地区の「わんぱく広場」に集まってきます。イチ、ニイ、サン、シ…。ラジオ放送に合わせ、参加者は体を前後左右に動かし、うっすらと額に汗をかいていました。

初めて参加したという小学1年の女の子は「気持ち良かった。スタンプが貯まるのが楽しみ」とさわやかな表情で話してくれました。



## 7/25 惜しくも甲子園出場ならず 神埼清明高校が佐賀大会で準優勝



夏の甲子園出場を決める第105回全国高等学校野球選手権記念佐賀大会の決勝戦が、佐賀市のさがみどりの森県営球場で開かれ、2年連続決勝に進出した神埼清明高校でしたが、鳥栖工業高校に敗れ惜しくも準優勝に終わりました。

神埼清明は初回、先頭打者の木村<sup>かえで</sup>楓君が二塁打を放ち先制のチャンスをつくりましたが、後続が続かず無得点。これまでチームを引っ張ってきたエースの鎌山<sup>つばさ</sup>翼君も5、6回鳥栖工業打線につかまり失点しました。それでも、神埼清明の選手たちは諦めず、最後まで堂々と戦い、スタンドからは惜しみない拍手が送られました。

来年こそ、神埼清明ナインが甲子園出場を果たしてくれることを期待しましょう。

## 8/12 鳥羽院山荘で夏休み子ども寺子屋 ベテランの先生に宿題教わる

脊振町の鳥羽院山荘で退職校長会、退職女教師の会、教育支援センターの指導員などの協力により「夏休み子ども寺子屋」を開催しました。

市内の小学生約30人が宿題を持参し、分からないところをベテランの先生方に教えてもらい「宿題全部終わったよ」という声も聞こえてきました。

元分校の鳥羽院山荘での開催は4年ぶりで、子どもたちは楽しんで宿題をしていました。ボランティアでご指導いただいた先生方ありがとうございました。



## 8/5.6 仁比山少年野球クラブ 九州大会でも健闘！

4月～6月にかけて行われた高松宮賜杯第43回全日本学童軟式野球大会佐賀県大会で、見事3位に輝いた仁比山少年野球クラブが、第36回九州学童軟式野球大会に出場しました。

同クラブは1回戦で串良ファイターズ軟式野球スポーツ少年団(鹿児島)に勝利し、続く2回戦で八代ジュニアスターズ(熊本)と対戦しましたが、2-6で惜しくも準々決勝での敗退となりました。

主将の伊藤碧海君は「負けて悔しいが、これまでの練習の成果が発揮できてよかった」と大舞台でプレーができたことに胸を張りました。



## 8/8 神埼地区少年補導員連絡協議会 ひまわりでみんなを笑顔に

神埼地区少年補導員連絡協議会から、ひまわりのプランター10基を寄贈いただきました。

佐賀県警察と佐賀県少年補導員連絡協議会では、少年の非行防止および立ち直り支援として居場所づくり活動を行っており、その一環で県内の山の荒れ地を耕し、約1,000株のひまわりを定植、種を収穫し、各地区の協議会に配布されています。

今回いただいたひまわりは、その種で栽培されたもので「ひまわりを咲かせることで、みんなを笑顔にしたい」との思いが込められています。



## 8/21 松涛連盟全国空手道選手権大会 生島弘翔さん 市長へ優勝を報告

神埼空手クラブの生島弘翔さん(神埼町本堀)が、7月に国立代々木競技場第二体育館で行われた第24回松涛連盟全国空手道選手権大会の(組手)中学3年生男子の部で優勝したことを市長に報告しました。

お父さんの影響で3歳から空手を始めたという生島さんは「厳しい試合もあったが、良い緊張感で最後まで戦うことができた」と大会を振り返りました。市長は「今後の活躍も楽しみにしている。これからも文武両道で頑張ってほしい」とエールを送りました。

